



育成する3つの資質・能力を
ふまえた学校改革の新たな展開



さらに、2017年度からは「KSプロジェクト」と題した選択制の特別講座を開講。プログラミングや模擬裁判、国語・社会・理科が融合したフィールドワークなど、文系・理系の枠を超えた多彩な学びを提供しています。

問い合わせ一覧 ▶ P.188

生する能力(「主体性・多様性・協働性」が必須です。これらの力は個別の知識や技能などの可視化できる「認知的スキル」に対して、「非認知スキル」と呼ばれています。本校では、こうした非認知スキル「新しい人間力」を育成するため、従来から次のような2つの体験学習を導入しています。

1つは、中1・中2次に行うPA(プロジェクトアドベンチャー)。さまざまなアクティビティを通じてコミュニケーション力や協働の力を養うプログラムで

あつて必要とされる、「新しい人間力」と「新しい学力」をバランスよく備えた人間です。そしてこれは、2020年度からの大学入試改革で見極めようとしていられる人物像に合致しています。

さらに、昨年6月にポスト2020の教育改革として、文部科学省では個別最適化、経済産業省ではアダプティブラーニングという名のもとに、個々に適した学習を行う必要性が提言

材して得たエピソードに基づいて全員でシナリオを書き、ドラマとして演じることで、他者との異質性に気づき、イメージのすり合わせ・共有の術を学びます。こうした体験学習に加え、2019年度からはJAXAとの共同研究開発を開始。同機構が宇宙飛行士養成で行っている非認知スキル育成のための訓練法や評価方法を教育の世界に活かすための研究を行います。

●知識・思考力・判断力
などの認知スキルを育成
新時代を強く生き抜く力

の源となる知識・技能の習得においては、ハイレベルな授業を展開するに留まりません。2016年度にはICT教育部を発足させ、教育のあらゆる場でICT化を促進し、情報化社会に対応できる力を養うとともに、生徒一人ひとりの学力を伸ばす環境づくりに努めています。具体的には、ICT教育部主導のもと、全教室に高性能プロジェクトを設置、校内全域でWiFi完備、生徒全員へiPad付与(高1〜)、EdTech(科学技術による教

育)の調査・導入準備などを行っています。

また、変化が激しく複雑に物事が絡み合う新時代においては、豊かな思考力、判断力、表現力をもとにした問題解決能力も必要となります。そのため、1992年より「社会科学総合学習」という授業を設置(中1〜中3、週2)。テーマを自ら決め、企業などへ取材し、文献を調べ、考えをまとめ、発表し、レポートに書くという一連の流れを毎学期行っています。中3では、各自が原稿用紙30枚以上におよぶ論文を書き上げます。この取り組みは各所で高い評価を得ています。



男子校 中2・9月まで転編OK

かいじょう
海城中学高等学校



JAXAとの共同研究もスタート! 国の提言をも凌ぐ未来型教育を推進

帰国生数 中 10% 高 10%

新大学入試改革に完全対応 十時代を先取りした教育

本校は、創立100周年を迎えた翌年の1992年に教育改革をスタート。以来、国家・社会に有為な人材を育成するという建学の精神の下、いまの時代に沿ったリベラルでフェアな精神を持つ、新しい紳士の育成に努めてきました。本校の考える国家・社会に有為な人材とは、グローバル化が進み、価値観が多様化した日本の成熟社会に

あつて必要とされる、「新しい人間力」と「新しい学力」をバランスよく備えた人間です。そしてこれは、2020年度からの大学入試改革で見極めようとしていられる人物像に合致しています。

さらに、昨年6月にポスト2020の教育改革として、文部科学省では個別最適化、経済産業省ではアダプティブラーニングという名のもとに、個々に適した学習を行う必要性が提言

されています。また文部科学省では脱文理分割、経済産業省ではSTEM(科学、技術、工学、数学)に人文科学系のA(アート)を加えたSTEAM教育の推進を掲げ、文理を融合した探究学習を模索するとしています。こうした中、本校では改革第3期前半のグローバル教育部の設置に続く取り組みとして、2016年には、ICT教育部・ICTラボの設置、翌17年から文理を融合した選択制の

特別講座「KSプロジェクト」を開講しました。

このほか2019年度からはJAXA(宇宙航空研究開発機構)と共同の研究開発もスタートさせています。「新しい人間力」新しい学力」を育成するための具体的な教育内容は次の通りです。

●主体性・多様性など
非認知スキルを育成
グローバル社会で活躍するためには、他者を理解・尊重し、主体性を持つて共

帰国生入試 生徒募集要項

募集人員	男子30名	出願期間	2019年12月初旬〜予定。 インターネットによる出願。 ※決まり次第、本校HPに掲載
応募資格	①2020年3月小学校卒業見込みの方。②同居の保護者、または保護者の認める成人のもとから通学できる方。③2014年4月1日から2020年3月31日までの間に2年以上海外に在住し、かつ、2017年7月1日以降に帰国した方。◇帰国生入試の受験者は、一般入試①・一般入試②も受験可能です。	出願手続	インターネット出願手続き完了後、 海外生活証明書・面接カードを提出
科目	[A方式]国語・算数・面接 [B方式]国語・算数・英語・面接 ※A・B方式のいずれかを選択。国語・算数はA・B両方式共通問題。 ※面接はいずれも10分程度、受験生のみ。 ※面接時に「生活していた国や地域と日本との違い」について2分程度の日本語スピーチあり。	試験日	2020年1月7日(火)

2019年 大学合格実績 ()は現役

国公立大学	46(31)
東京大学	15(7)
京都大学	9(6)
東京工業大学	14(9)
一橋大学	31(24)
国立大学医学部	
私立大学	
早稲田大学	145(110)
慶應義塾大学	123(84)

※国立医学部には東大理Ⅲ(1)名、防衛医科大2(1)名を含む。※上記は、2019年3月22日判明からの抜粋